

様式第8号 (第11条関係)

(1) 炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー
給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備
ヒートポンプ冷暖房機
火花を生ずる設備・放電加工機

設置届出書

(2) 年 月 日					
(3) 消防署長 様					
届出者 (4)					
住所 _____					
氏名 _____					
電話番号 _____					
気仙沼・本吉地域広域行政事務組合火災予防条例第44条の規定により、火を使用する設備又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある設備の設置について届け出ます。					
防火対象物	所在地	(5)	電話番号		
	名称	(6)	主要用途	(7)	
設置場所	用途	(8)	床面積	(10) m ²	消防用設備等又は特殊消防用設備等 (12)
	構造	(9)	階層	(11)	
届出	設備の種類	(13)			
	着工(予定)年月日	(14)	竣工(予定)年月日	(15)	
設備	設備の概要	(16)			
	使用する燃料・熱源・加工液	種類		使用量	
		(17)	(18)		
	安全装置	(19)			
取扱責任者の職氏名		(20)			
工事施工者	住所	(21)	電話番号		
	氏名	(22)			
※ 受付 欄			※ 経過 欄		

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 階層欄には、屋外に設置する設備にあっては、「屋外」と記入すること。
 - 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
 - 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
 - 当該設備の設計図書を添付すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。

炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー等 設置届出書記入要領

項 目	記 入 内 容
(1) 届出種別	届出に該当する設備を○で囲みます。
(2) 年月日	届出書を提出する年月日を記入します。
(3) 宛先	届出書を提出する消防署長を記入します。(気仙沼又は南三陸)
(4) 届出者	設備を設置する者の住所、氏名、電話番号を記入します。 (法人の場合は、法人の住所、名称、電話番号及び代表者の職、氏名を記入します。)
(5) 防火対象物の所在地	設備を設置する防火対象物の所在地、電話番号を記入します。
(6) 防火対象物の名称	設備を設置する防火対象物の名称を記入します。
(7) 主要用途	防火対象物の用途を消防法施行令別表第1に掲げる用途等により記入します。 (例)「ホテル」「事務所」「特定用途の複合」等
(8) 設置場所の用途	設備を設置する場所の用途を記入します。 (例)「ボイラー室」「倉庫」等
(9) 構造	設備の設置場所の構造を記入します。 (例)「鉄骨造」「鉄筋コンクリート造」等
(10) 床面積	設備を設置する場所の床面積を記入します。
(11) 階層	設備を設置する場所の階層を記入します。
(12) 消防用設備等又は特殊消防用設備等	設置する消防用設備等の種類を記入します。 (例)消火器 等
(13) 設備の種類	設置する設備の種類を記入します。 (例)温水ボイラー 等
(14) 着工(予定)年月日	着工(予定)年月日を記入します。
(15) 竣工(予定)年月日	竣工(予定)年月日を記入します。
(16) 設備の概要	設置する設備、製造会社名、型式を記入します。設備の仕様書等を添付し、「※別紙参照」と記入します。 (例)小型貫流ボイラー ○○社製 型式○○ ※別紙参照
(17) 使用する燃料等の種類	設置する設備に使用する燃料の種類を記入します。 (例)灯油
(18) 使用する燃料等の使用料	設置する設備の1時間当たりの燃料消費量を記入します。 (例)○○ℓ /h
(19) 安全装置	設置する設備の安全装置の概要を記入します。 (例)「自動停止装置」「温度調節装置」「過熱防止装置」等
(20) 取扱責任者の職氏名	設置する設備を取扱う責任者の職、氏名を記入します。 (例)○○店 店長 ○○ ○○
(21) 工事施工者住所	設置する設備の施行に従事した者の住所、電話番号を記入します。 (法人の場合は、法人の住所、電話番号を記入してください。)
(22) 工事施工者氏名	設置する設備の施行に従事した者の氏名を記入します。 (法人の場合は、法人の名称及び代表者の職、氏名を記入してください。)